



# 大手通信会社Swisscom がGlassFishからPayara Serverに移行

Swisscomはミッションクリティカルなインフラストラクチャで展開する2つのプラットフォームでの問題解決を、信頼でき、素早く対応するサポートサービスに任せたいと考えていました。2015年にGlassFishからPayaraに移行した同社は、Payaraのコストの低さとクオリティの高さに驚きましたサポートサービス

## Payaraへの切り替え

Swisscomは、Payara Supportへの移行は、大きな問題も起こらず、「非常に簡単だった」とコメントしています。問題解決のために発行されたあるチケットは、「対応が迅速で、役立つものだった」と評価されています。また、顧客専用パッチビルドがリリースされるため、パッチビルドをテストするための時間が2ヶ月も短縮されました。

Payara Supportは、Payara ServerやPayara Microのパッチビルドを毎月ホスティングするMavenレポジトリへのアクセス権もお客様に付与しています。従って、SwisscomはPayara Supportが提供するパッチもスタビリティストリームが提供するパッチも利用することができ、開発サイクルの全行程に簡単に統合しています。

Payara Supportチームのエンジニアは年中無休で問題解決に取り組み、ミッションクリティカルなアプリケーションに対し信頼できるサポートを提供しています。

## 結果

Payara Supportは、Swisscomに素早く解決方法を提示しています。中には、問題が報告されたと同時に、Payaraのエンジニアがソリューションを提案し、解決したこともありました。複数のプロジェクトで問題解決時間が大幅に短縮されたことにより、Swisscomのエンジニアがソリューションを探す手間を省いています。

詳細は[www.payara.fish](http://www.payara.fish)

をご覧ください。弊社までメール ([info@payara.fish](mailto:info@payara.fish)) でお問い合わせください

## Swisscomについて

スイスの最大手通信会社で、国内屈指のIT企業であるSwisscomは、本社を首都ベルン近郊のイッティゲンに構えています。Swisscomは、イタリアで子会社Fastwebが国内最大のブロードバンドプロバイダーとなるなど、イタリアを中心として海外にも事業を展開しています。2017年末時点で2万人以上の従業員を抱え、売上高は117億を計上しています。同社は1852年に設立された老舗企業です。

事業内容: 通信

本社所在地: スイス・ベルン

弊社提供サービス: プロダクションサポート

技術: Java EE、GlassFish、Payara Server



swisscom